本時のねらい すごろくジェスチャーゲームを通して,感情や様子を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 本時の展開(3/4)

<u>本時σ</u>)展開(3/4)	
過程	学習活動	
導入	1.Warm-up あいさつと歌 Hello Song 2.ALT's Time ALT が自分の出身国のジェスチャーと日本のジェスチャーの違いで驚いた話を聞	
	ALT か自分の出場国のフェスティーと日本のフェスティーの建いて無いた品を関く。 3.Activity (評価の観点 ア・イ)	L
課題	気分や様子を伝え合って,グループですごろくジェスチャーゲームをしよう。	Į.
	(1)教師によるスキットを見て,活動の見通しをもつ。	中
展開	すごろくジェスチャーゲーム A: How are you? (How are you?とグループの仲間に尋ねられてからさいころをふる。) B: (ジェスチャーをしながら) I'm fine (happy / sleepy / hungry / sick / sad / hot / cold).	4
	コマを進める児童以外は How are you?と尋ね,コマを進める児童はさいころをふり,コマが止まった所の絵に合う感情や様子をジェスチャーを付けて答える。	-
	(2)チャンツをする。(How are you? I'm fine (happy / sleepy / hungry 等).(3)グループですごろくジェスチャーゲームを行う。活動の半ばに中間交流をし,後半の活動へ活かす。4.Evaluation	
評価	(1) 自己評価をする。・すごろくで止まったところの気分や様子を , ジェスチャーを付けながら仲間に伝えることができた。 ・相手の気分や様子を尋ねたり ,ジェスチャーや表情を伴って自分の気分や様子を伝えたりすることができた。	Ė
	(2) 相互評価をする。・ さんが絵に合う英語や表情で気分を伝えていて活動が楽しくなった。(3) 教師による評価を聞いて次時への意欲をもつ。・言葉と一緒にジェスチャーや表情で伝えようとしながらグループで活動を楽しく進めていた。	

本時の重点とする評価の観点と評価方法

- ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度
 - 感情や様子を進んで友だちに伝えようとしている。【観察】
- イ 外国語への慣れ親しみ
 - ジェスチャーや表情を伴って感情や様子を尋ねたり答えたりしようとしている。【観察】

各過程における配慮事項

学習活動1について

あいさつや歌で英語活動を始める楽しい雰囲気作りをする。歌では,自然に身振りを加えたり,楽しそうに歌ったりしている児童を価値付ける。

学習活動2について

本時の課題に関わる内容を取り上げる。ALT は,自身が体験した日本と他の国とのジェスチャーの違いを写真や実際の動作を交えて話し,国などによってそれらが異なることや,ジェスチャーや表情を伴って自分の感情や様子を表現することの大切さに児童が気付くようにする。

学習活動3について(発展的な活動)

HRT と ALT によるモデルスキットを提示し、児童が活動の方法を理解したり、基本のやりとりを理解したりできるようにする。グループ内で順番を決め、さいころをふる児童にグループの仲間が必ず How are you?と尋ねる。さいころをふった児童は、止まったマス目の指示通りにジェスチャーをしながら気分や様子を英語で答える。すごろくには「先生マス」を作り、「先生マス」に止まったら、児童は担任や ALT のところへ行き、英語の質問に答える。活動の半ばで中間交流を入れ、ジェスチャーや表情をともなって自分の感情や様子を表現することができている児童や、自分の感情や様子を進んで友だちに伝えようとしたりしている児童の姿を価値付け、クラス内に広めるようにする。

学習活動4について

HRT と ALT は , ジェスチャーや表情をともなって感情や様子を伝えたり , 仲間の話をよく聞いてうなずいたり , Fine?と聞き返したりしている児童の姿を価値付け , クラス内に広めていく。

中学校へつなげるポイント

外国語活動では,児童の外国語への慣れ親しみの度合いや学級の実態に合わせて活動形態の工夫を行う。本時のようなグループ活動では,仲間の表現を何度も聞くことができ,自分たちで活動を進めることで自信にもつながる。